



和光の緑と湧き水だより会報 Verda209号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。
作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>
一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 会員募集中

2021年1月、2月の主な予定表 (2020年12月25日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・ 大坂ふれあいの森(地域の会に協力して)
1月		16日(第3土曜) 定期保全 9時半~	9日(第2土)9時半~ 富澤湧水保全・ 11時~ 湧水の歴史(白子コミセン) 20日(第3水)大坂ふれあいの森 9時~
2月	樹林公園ヒロハア マナの森・保全観察	20日(第3土) 定期保全 9時半~	13日(第2土) 富澤湧水保全 9時半~ 17日(第3水) 大坂ふれあいの森 9時~

2021年の新たな年を迎え、お慶び申し上げます

皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。2020年のコロナ禍を何とか切り抜けられ、新しい年を迎え、心新たな明るい兆しを感じられます。湧き水の会、白子大坂ふれあいの森の会ともに、和光の身近な自然を守り、次の世代へと伝える活動を継続しています。

2020年11月には、長い間手を付けていなかった富澤湧水の斜面林の大掛かりな剪定整備が市の事業で行われました。見事な技で大木の枝剪定・老樹伐採が実施されました。

20年前に湧き水の会が活動を始めたころの様子と比較してみましょう。

富澤湧水で湧き水の会が調査を始めた2000年頃、斜面林前に数軒の家がありましたが、今では広い駐車場になり、斜面の樹木が枝を伸ばし、生い茂った森になっています。現在の水路は、2000年4月にもとの小川から植物や生き物をできるだけ同じ状態に移設したものです。移設後湧き水の出る地層が良く見えるようになりました。



2000年3月5日の
富澤湧水斜面付近
(写真上 2軒の家)
この斜面林と湧水
は、2015年12月に
「白子宿特別緑地保
全地区」の指定を受
け保全しています
(写真下 整備後)



俳句一句
走り出す
サワガニ親
子
岩の影
(小川作)

大坂ふれあいの森コーナ 12月17日に大坂ふれあいの森の存続について市に要望書を提出しました。
東京学芸大学名誉教授 小泉武栄先生（自然地理学）から大坂ふれあいの森の重要性についてご意見をいただきました。

大坂ふれあいの森は、和光市白子の湧水群を代表する場所で、和光市民の皆さんの憩いの場となってきました。また和光市民だけではなく、近隣に住む方々や、もっと広く武蔵野台地に住む多数の人にとっても愛される大切な場所となっています。たとえばこの森は小学生から大学生、社会人までの多様な世代の環境学習や自然学習、歴史学習等の場所としても活用されてきました。そのため、そこが失われることは、和光市民だけでなく、埼玉県民や隣接する場所に住む東京都民にとっても、天然記念物級の大切な自然が喪失することを意味します。

以下、大坂ふれあいの森の価値について専門家の立場から、意見を述べます。

1. 当該の森は、台地末端の馬蹄形をした地形と湧水、それにその上に成立した植物群落、本来の自然の手つかずの形を残した、武蔵野台地唯一の存在である。武蔵野台地の周囲には国分寺崖線を始め、いくつもの崖線があり、かつてはそれに沿って崖や湧水や植物群落があったとみられるが、それは都市化の進展に伴って次々に失われ、現在では大坂ふれあいの森を残すのみとなっている。筆者は、この森がかつての武蔵野台地の自然の姿をよく残しているという点で、埼玉県の天然記念物に指定するほどの価値を有すると考える。
2. この森は、武蔵野台地の崖線で湧水が生じるメカニズムがよく理解できる貴重な場所である。大坂ふれあいの森では、地下に武蔵野礫層が堆積しており、その下にある東京層という泥層が水を通さないために、湧水が生じている。
3. 大坂ふれあいの森では武蔵野台地の形成期を示す「東京パミス（軽石）」という、およそ7万年前に箱根火山から噴出した火山灰を、堆積時の地層の状態をたもった形で見るができる。これだけでも保存する価値がある。同じ火山灰は東京都内でも唯一、調布市の野草園そばの露頭で見られるにすぎない。
4. 馬蹄形をした崖にはムクノキの大木が多数生育している。ムクノキはこうした自然の崖地に生育する特徴的な樹木であるが、これだけまとまって生育しているのはきわめて珍しく、これだけでもやはり天然記念物級の存在である。
5. 大坂ふれあいの森の林床には、春植物の代表ともいえるカタクリやキツネノカミソリなどが生育している。カタクリなどは氷河時代の生きた化石ともいえる植物で、冷たい湧水のある場所ではしか生育できないが、この湧水は地下に武蔵野礫層と東京層という2つの地層があるために生じたものである。

以上、述べたように、大坂ふれあいの森は奇跡的なつながりの中で生じた、天然記念物級の自然です。よい形で保存されることを切望いたします。

新倉ふれあいの森での活動

12月19日(土)新倉ふれあいの森の孟宗竹の伐採作業をしました。切り出した竹、竹枝、ササが大量にあります。今年度は上谷ふれあいの森主催の焼き芋大会が中止になり、集めた竹などの焚火での処理が出来なくなりました。そのため、伐採竹等の対応を公園みどり課にお願いしました。4月には多くの親子ずれのタケノコ掘りが期待されます。春の貴重な野草も見られる所です。



竹枝集め：幹から枝を落とし集めた竹の葉 竹幹置き場 毎年山積みになる 2020年最後の活動